

戦略的な広報活動の実績紹介と今後の土木広報に対する提言



様式2

福島県いわき建設事務所企画調査課
主査 齋藤 洋貴

～ いわき建設事務所の広報の取り組みについて ～

1. はじめに

いわき沿岸部では、復旧・復興が進んでおり、いわきに安心して「来る」ことができる状態であることが広く伝わっていない。いわきに来てもらうために戦略的に広報計画を作成し、実施した広報の取り組み、得られた知見を分析し、今後の広報に対する提言を行う。

2. 広報の取り組み

1. パネル展示



展示回数 17回(予定含む)
県内 11回
県外 6回

2. 広報紙の作成



県内外 31箇所配布

3. インスタグラムによる発信



<https://www.instagram.com/iwaki-const/>

3. 分 析

- ◆パネルの展示は、展示物に近寄ってもらう仕掛けが重要
 - ・イベントでは自然と目に入る状況をつくる
 - ・興味を示す人が多い場所を選定する
- ◆広報紙は、手に取ってもらう仕掛けが重要
 - ・型にとらわれない紙面構成・内容へと常にリニューアルする
 - ・人を介しながら、渡っていくよう「人」を入れ込む
- ◆インスタグラムは、うっかり見ってしまう仕掛けが重要
 - ・無意識に目に入るよう、#(ハッシュタグ)の付け方を工夫する

4. 提 言

- ◆興味の無い人に興味を持ってもらうため、知恵を出し合う必要がある
(いわきだけでなく、県全体として考える必要がある)
- ◆効果加速には、私たちが主体となりながら他部局と連携(乗るのではなく、補ってもらう)して広報を行う必要がある